

神戸電鉄粟生線 新三木駅舎 外観デザイン総選挙！！



昭和13年の開業以来、80年もの間、住民の皆様にあいさつされてきた三木駅舎は、平成30年3月の火災により焼失しましたが、これまで以上に安全で快適な駅の再生を図るため、新駅舎を整備することとしています。今後も変わらず皆様に愛着を持っていただく駅とするため、新駅舎の整備に先立ち、このたび新駅舎の外観デザイン投票を実施します。

旧駅舎・レトロ風

旧三木駅舎をほうふつとさせる赤い三角屋根が当時の懐かしさを演出



モダン風(斬新・現代風)

特徴的なストライプと曲面の大屋根が駅舎全体を包み込む優しさを演出



城下町風

城下町の大屋根敷を思わせる大屋根が重厚感を醸成



下記の投票用紙にもれなく記入し投票箱へ入れてください
【投票期間】: 令和2年8月15日(土)から
令和2年9月15日(火)まで

【投票箱の設置場所】

- ・三木市役所3階市民課前
- ・三木市内の各市立公民館等
- ・三木市立中央図書館及び吉川図書館
- ・神戸電鉄粟生線三木駅(上り・下り)

【郵送・FAXでも投票できます(裏面参照)。
三木市ホームページからも投票できます。】

三木駅 デザイン総選挙 検索

※図案(A・B・C案)はあくまでイメージです。実際の完成後と異なる場合があります。三木市ホームページで完成予想図(パース図)を御覧いただけます(投票開始日掲載予定)。

“神戸電鉄1日乗り放題チケット”を抽選で100名様にプレゼント!! ※当選は記念品の発送をもって代えさせていただきます。

▼▼▼神戸電鉄粟生線 新三木駅舎外観デザイン投票用紙▼▼▼

投票するデザイン案 (A・B・Cのうち一つを○で囲んでください)		A	B	C
		旧駅舎・レトロ風	モダン風(斬新・現代風)	城下町風
※ 必須	住所	〒 _____ 都道府県 _____ 市郡区 _____		
※ 必須	ふりがな 氏名	_____		電話 番号 (_____) _____
	年齢 (○で囲む)	10歳未満・10歳代・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代・80歳以上		

※住所及び氏名欄は必ず記入してください。無記入の場合は投票無効となりますので御注意ください。
※個人、法人、各種団体名での投票は可能ですが、同じ氏名、法人、団体名での複数投票は無効です。
※御記入いただいた個人情報本投票のみに使用し、他の目的での利用や外部提供は行いません。

⇒裏面も御覧ください。

三木駅の沿革

神戸電鉄粟生線三木駅は、昭和13年1月に「三木福有橋駅」として開業しました。

昭和29年1月には「電鉄三木駅」に、昭和63年4月には「三木駅」にそれぞれ改称され、現在に至っています。

昭和26年までは三木駅が終着駅で、「三木線」と呼ばれていました。



昭和40年頃



○昭和13(1938)年1月28日 「三木福有橋駅」として開業(終着駅)
 ※開業当時は貨物線が2番線の北側(現駐輪場)にあり、駅舎は本駅舎のみで、構内渡線道で上りホームに行く構造となっていた。

○昭和26(1951)年12月28日 三木～小野間の延伸開業
 ○昭和29(1954)年1月1日 「電鉄三木駅」に改称
 ○昭和35(1960)年9月 1両ホームを2両ホームに改良(この間に貨物線を廃止)

○昭和41(1966)年4月 2両ホームを3両ホームに改良

○昭和63(1988)年4月1日 「三木駅」に改称
 ○平成13(2001)年6月23日 4両ホームとするため構内渡線道を廃止し、上り駅舎(北駅舎)が開業

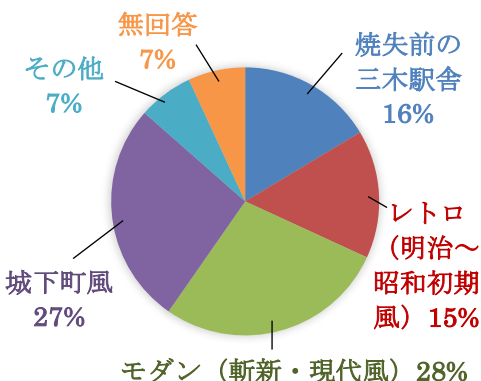
○平成30(2018)年3月4日 本駅舎(下り駅舎)が火災により焼失

昭和56年頃



以降、現在に至るまで三木駅の再生に向けて取り組んでいます。

三木駅の再生に関するアンケート結果 (平成30年7月～9月実施)

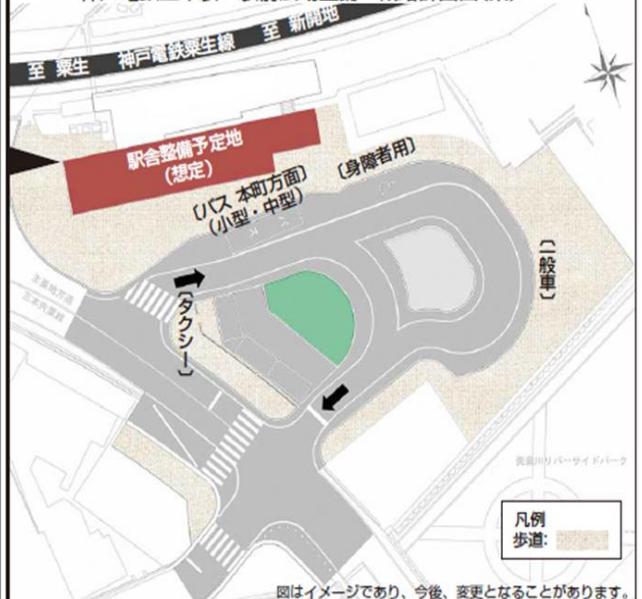


「焼失前の三木駅舎」と「レトロ(明治～昭和初期風)」を合わせて31%、「モダン(斬新・現代風)」が28%、「城下町風」が27%となっており、回答割合が拮抗しています。

新駅舎のイメージ候補は次の3案

- 旧駅舎・レトロ風 (明治～昭和初期風)
- モダン風 (斬新・現代風)
- 城下町風

神戸電鉄三木駅 駅前広場整備 概略計画図(案)



問合せ先

三木市 都市整備部 交通政策課

〒673-0492 兵庫県三木市上の丸町10-30
 TEL:0794-82-2000(代) FAX:0794-82-9625